

**「教壇プロジェクト」進行中！（全教室の教壇を生徒が製作）****～ 教壇を活用して「わかりやすい授業」へ ～**

尼崎市立琴ノ浦高等学校（生徒数 274 人、定時制、普通科）は、阪神尼崎駅から徒歩 5 分、尼崎城の隣にある定時制高校です。城内高校と尼崎工業高校の市立定時制 2 校を再編し、平成 25 年に誕生しました。普通科ですが、2 年生から普通、工業機械、工業電気、商業の 4 系列に分かれて授業を行っています。

一般的に、高校の教室には教壇（先生が乗る黒板前の台、下写真参照）が備えてありますが、本校には以前からそれがなく、身長の高い教員は、黒板の上部に手が届かないためスペースを有効に活用することができていませんでした。

昨年、生徒にとってよりわかりやすい授業のあり方（授業のユニバーサルデザイン化）の研修会を持った際、発達に特性のある生徒にとっては、視線移動が少なくすむ、すっきりとした板書を心がけることも大切であるという指摘を受けました。そこで、黒板を上から下まで活用することが授業改善につながるととらえ、教壇の整備を検討することにしました。

しかし、全教室分の教壇を購入するには数百万円の費用が必要であるため、教員に相談したところ、では自分たちで作ろう、ということで、生徒の実習課題として取り組むことにしました。（このほかにも、本校では防球ネットの修理（溶接）など、身近なテーマを実習課題として取り上げています）

工業機械系列 2 年の生徒たちは、機械実習の時間を利用して、教員の指導のもと、慣れた手つきで必要な寸法に切り出した木材を組み、ドリルで下穴を開け、コーススレッド（木ネジ）で接合して教壇を製作します。慣れてくると、自分たちで分業し、1 台 30 分程度で作り上げてしまいます。かかる費用は 1 台当たり 2 万円程度。

自分たちの手で完成させた教壇は、さっそく教室に運び込み、授業で活用します。教員からの評判もよく、ものづくりによって人々に喜ばれる達成感が生徒たちに自信をつけさせています。

この「教壇プロジェクト」によって、すでに大部分のホームルーム教室に教壇が設置されており、目標の達成も間近です。この、定時制高校ならではの取り組みを、是非記事として取り上げていただきたく、ご連絡いたします。



（2 年生の実習は、10/22（木）、29（木）の 2～5 限（17:30～21:10、ただし 18:15～18:45 は給食のため除く）に実施しています）

以 上